大分県議会議員　高橋はじめ　県民クラブ会報「県民ひろば」　臼杵市版　　◆再生紙◆

高橋はじめ通信

NO.28
2026. 秋号

かけはし



■事務所　〒875-0041　臼杵市大字臼杵72番地の47　　TEL・FAX 0972-83-5911　E-mail　hazime.ast8@gmail.com

猛威を振るう自然災害
自助・共助だけではなく
「公助」こそ今必要



8月は「平和と戦争について考える月間」ですが、9月は「自然災害から身を守ることを考える月間」となりました。7月28日の熊本地震や8月13日と27日に発生した千葉県と北陸地方での豪雨災害など、近年は地震や台風のみならず短時間の大雨や集中豪雨などの自然災害が、場所を選ばず全国各地で発生しています。海外でも、ネパールでの氷河崩落による大規模土石流など、その被害は年々大きくなっています。

9月定例会でも、環境変化や自然災害に関わる一般質問が、多く出されました。今後予想される大災害に対し、県として防災減災にどう取り組むかが問われました。その対策の多くは、電源や水の確保、体育館の空調設備の整備、段ボールベッドやトイレカーの配置など、一次避難所で少しでも安心して避難できる環境を用意しようとするものです。いつ、どこで、どのような自然災害が起こるかわからない現在、県が想定できるだけの避難環境の整備を進める姿勢は非常に大事です。しかし、能登半島地震や熊本地震でも「車中泊」をする被災者が多く、災害で直接亡くなった人より「災害関連死」の方が多かった事実があります。

よく比較されるのが、台湾の災害時の対応です。2024年の台湾での大規模地震では、地震発生からわずか2～3時間で避難所が設営されました。被害が大きかった花蓮地域の避難所では、冷暖房完備や簡易ベッドが備えられたプライバシーに配慮した「テント」が設置され、女性専用や特別支援者専用の寝室も設置されたといいます。3時間後には被災者を受け入れ、4時間後には設備がほぼ整いました。災害大国のイタリアでも同じような対応ができています。



しかし、同じ災害大国である私たちの日本はどうでしょう。避難所は相変わらず学校の体育館。空調設備はようやく整いつつありますが、避難者はみんな雑魚寝。間仕切りといっても段ボールでプライバシーも保たれていません。熊本は2カ月経ってもそのような状況です。女性への性被害もあると聞きます。阪神・淡路大震災から30年以上経つというのに、避難所環境は改善されてはいないのです。被災者ができる「自助」や地方自治体が対応する「共助」はもはや限界があります。でも、国がやるべき「公助」は一向に進んでいません。

災害が発生することを見越し、避難した県民が安心安全な避難所生活ができる環境改善が一刻も急務です。県も私たち議員も、国に対して避難所環境の大幅な改善を力強く働きかけていかなければいけません。

議案27件請願１件が可決されました

― 2026年第３回定例会報告 ―

９月３日に開会した第３回定例会は、途中「秋の連休」をはさみ22日間の会期を終え、24日に閉会しました。今回は、「九州ふっこう応援割」や高校教育改革「ネクストハイスクール推進事業」等を含む９月の補正予算案などの審議が行われました。

補正予算額は、支援策のための経費計上が10億8千万千、高校教育改革推進と安心・元気・未来創造ビジョン推進などの経費に105億7426万2千円が計上されました。主な内容は以下の通りです。



補正事業の内容(抜粋)

①観光誘客緊急対策事業　10億８千万円

熊本地震の影響を受けた観光関連産業を支援するため「九州ふっこう応援割」として旅行代金の割引を行う。

【対象期間】

10月～12月(12月25日宿泊分まで)

【割引率】

最大50%（熊本県又は鹿児島県の宿泊を含む周遊型旅行の場合最大60%）

【上限額】

・宿泊単体又は交通付宿泊旅行(１泊)２万円
・交通付宿泊旅行(２泊以上)３万円
・周遊型旅行(宿泊地が２県以上)3.5万円



②高校教育改革の推進

◇ネクストハイスクール推進事業
……1938万9千円

国の基本計画を踏まえた県の実行計画を策定する。

◇ネクストハイスクール先導拠点創出事業
……5022万４千円

高校教育改革を先導する拠点を創出するため、国の採択を受けた大分工業高校において、高度工業人材を育成するカリキュラムの開発や企業との連携、教育環境の整備等を実施する。

※尚、その後、三重総合高校が「スマート農業従事者育成拠点」、情報科学高校が「情報をハブとした地域産業を支える高度IT人材と理数系人材の育成拠点」、大分県教育庁遠隔教育配信センターが「大分型・遠隔教育高度化拠点」として、それぞれ国から追加採択を受けました。

③安心・元気・未来創造ビジョン2024の推進

◇多様な介護の担い手確保対策事業
……1000万円

介護人材の不足に対応するため、介護助手や育児等で現場を離れている潜在的介護福祉士の確保に向け取り組む。

・人材確保に取り組むモデル事業所の創出（６圏域×４事業所）

◇半導体関連産業企業力等調査分析事業
……3880万6千円

半導体関連産業の競争力向上を図るため、おおいた半導体デジタルネットワーク会員の技術力や投資動向等の調査・分析を行い、産業クラスターの強化に向けたグランドデザインを策定する。

◇工業団地開発推進事業……７億9460万円

企業立地の促進を図るため、工業団地における工業用水及び電力の確保に向けた調査・設計を行う。

・臼杵市、杵築市、豊後大野市

教育関連事項で今回大きく取り上げられた課題

今回の定例会では、高校教育改革をはじめ「平和教育」や「教育事務所の見直し」など、教育関係の課題について大きな提起がありました。今後、これらの件について推移を慎重に注視していく必要があります。

ネクストハイスクール先導拠点創出事業

高校教育改革を先導する拠点を創出するため、国の選択を受けた高校において、人材育成のカリキュラム開発や遠隔授業の拡大などの教育環境整備等を実施するものです。以下の４つの高校・センターが選択されました。

○大分工業高校(大分市)　○三重総合高校(豊後大野市)
○情報科学高校(大分市)　○教育庁遠隔教育配信センター(大分市)

※ネクストハイスクールとは、「2040 年問題」を見据えた高校教育改革の全体構想のことで、AI・デジタル技術の急速な進展、少子高齢化による生産年齢人口の減少、労働力需給ギャップ(事務職の余剰と、AI・デジタル技術を活用できる理系人材の不足)を背景に、文部科学省が令和８年２月に公表した基本方針です。高校段階から理数・デジタル素養の育成を中心に据えた教育への転換が求められています。

教育事務所の見直し

◎現状と課題

教育事務所は県内６か所(中津、別府、大分、佐伯、竹田、日田)に設置され、主に小中学校の教職員人事の連絡調整や臨時講師等の任用、授業力向上の指導支援等を行っています。しかし、少子化や教員不足、若手教職員の増加や新学習指導要領への対応など、最近の学校現場を取り巻く状況は厳しさを増す中で、現場からは教育事務所のあり方に対する意見や不満が大きくなっています。県教委としても、現行の教育事務所のあり方を見直す必要に迫られています。

◎方向性

・現行の６教育事務所を再編・集約することにより、一教育事務所当たりの人員体制を拡充し、教科等の専門的な指導体制を構築する。
・若手教員の育成、特別支援教育の充実といった喫緊の課題に対し、より高度かつ多角的に市町村教委や市町村立学校を支援できる体制を構築するなどの充実を図る。
・教育事務所集約により捻出できる教員の学校配置を進め、学校現場における教員不足解消にもつなげる。

平和教育について

今回の代表質問で県民クラブの守永議員が、３月の沖縄県辺野古沖で研修旅行中のボートが転覆し乗っていた高校生らが死亡した事故に関し、文部科学省が教育基本法違反であるとの見解を示したことにより、学校現場での平和教育が委縮することの懸念を問い、教育長の見解を問いました。



教育長は「戦争の悲惨さを自分事としてとらえること」の重要性を語るとともに、「教育基本法に基づき適切に行うよう、特に慎重に配慮することを想定している」と述べましたが、「今後も決して委縮することなく、政治的中立を確保した上で平和で民主的な国家や社会の形成者の育成を目指し、学校や地域とともに平和教育の充実を図っていく」と答弁しました。

平和をみんなで考える集まり「つむぐ」





世界のあちこちで戦争が起こり、日本各地でも軍備の拡大が始まっています。「平和」を語り継ぎみんなで守っていきたい。そんな思いを持った人たちで、平和への願いをさまざまな形で表現し、みんなで考える集会「つむぐ」を8月22日に開催しました。

実行委員会(私も参加)が企画し、今回は臼杵高校の軽音楽部の有志が参加してくれました。「みかんとカボス(私もメンバーです)」の朗読劇や高校生平和大使の活動報告、子どもたちが平和を願い創作した「モダンダンス」などが披露。臼杵市内外から、たくさんの方が参加してくれました。「希望を感じた会でした」「高校生平和大使の話が勉強になった」「それぞれの団体の平和への思いがしっかり伝わった」などの意見が寄せられました。

はじめの活動日誌

7月
- 8日 臼杵市の県教育長及び土木建築部長への要請行動
- 16日 大分県立学びヶ丘中学校視察調査
- 20日 第2回ヘルパーさんが足りない実行委員会意見交換
- 25日 「2026平和行動in大分」参加
- 28日 高教組専門部学習会にて教育問題について意見交換

8月
- 1日 ノーモアヒバクシャ大分の集い
- 2日 平和のための戦争展in大分 (写真①)
- 11日 「ヘルパーさんが足りない」緊急市民集会にて意見交換 (写真②)
- 21日 第54回国民教育要求実現大分県民集会にて県教育長へ要請行動
- 22日 平和集会「つむぐ」で臼杵市民と意見交換 (写真③)
- 24～26日 総務企画委員会県外所管事務調査

9月
- 3～24日 第3回県議会定例会
- 12日 第79回大分県民スポーツ大会総合開会式 (臼杵市)
- 18日 2026年度海外調査研究報告会
- 19日 HPVワクチン学習会にて意見交換



写真①



写真②


写真③

ホームページにご意見、ご要望などお寄せください

最新の議会情報に会報「かけはし」や様々な調査等々、掲載しています。皆様からのご意見やご要望なども受け付けています。よろしくお願いいたします。

【ホームページアドレス】
https://hajime-takahashi.jp/
二次元コードはこちら↓

【県民クラブHPはこちら】
https://kenmin-club.com/
二次元コードはこちら↓